

「建交労とうきょう」はいつでもみなさまからの記事や写真を待っています。
(メール) tohonbukenkouro@smile.odn.ne.jp
ホームページ
http://www.kenkouro.com/

建交労 CTG とうきょう

建交労東京都本部機関紙

発行所
全日本建設交通一般労働組合東京都本部
〒135-0048
江東区門前仲町1-20-3
東京建設自労会館7階
電話 03 (3820)8644(代)
fax 03 (3820)8646
編集発行人 松田 隆浩
1部15円組合費に含まれる(〒60円)

東京女性部 『憲法力2』 ～戦争の準備でなく平和の準備を～開催



講師：東京平和委員会事務局長 岸本正人さん



東京都本部7階会議室で開催しました



埼労連 渋谷さん



とても美味しく頂きました



「日本を戦場にする大軍拡」ここに未来はあるか？石破首相が、内閣発足後8日で解散を表明し衆院総選挙が行われた10月19日(土)、東京女性部は、東京平和委員会事務局長の岸本正人さんを招いて、今年も憲法カフェを開催しました。オンラインを含め13人が参加し、時間を超過する熱い学習会となりました。岸本さんは、「来年は戦後・被爆80年」として、アメリカとの「太平洋戦争」、原爆投下、ポツダム宣言受託・降伏、そして日本国憲法公布、サンフランシスコ平和条約と旧日米安全保障条約締結から陸海空の自衛隊の発足、新安保条約調印までの歴史を詳しく述べた後、戦後70年の安保法制の成立、「平和国家の政策の隅々に手を入れ、根底からくつがえした」と駐日大使に言われた安部3文書の閣議決定へと続く、日本の現在地が良くわかる講演となりました。国会前の行動で「戦争に行きますか・選挙に行きますか」の大きなプラスターを

【東京女性部委員 廣川陽子】

かかえてかけつけてくれた人、日本被団協のノーベル平和賞を喜ぶ声、ケーキを食べながら、平和の準備をこれからもどうやって続けていくか、改めて考える機会となりました。

建交労11.7中央行動 交通運輸労働者の労働条件改善を



国交省前に結集



厚労省前でシュプレヒコール



全国の仲間と取り組んだ請願署名を提出しました

厚労省前では「生

厚労省前では「生



11月7日～8日、建交労は、交通共闘が展開する中央行動と結合し「改憲阻止・大軍拡の推進反対、物価高騰を乗り越える秋闘を展開しよう」を求め、関係省庁や業界団体に要請行動を実施しました。全国から集まった仲間は国交省前に集結し、交通共闘の高城議長(自交総連委員長)などが、交通運輸の安全確保などを訴えました。組合員の総力を挙げて取り組んだ請願署名には「2023年6月1日に公正取引委員会が公表した『荷主と物流事業者との取引に関する優越的地位の濫用を規制する観点から行った調査』に基づき、適正料金收受の対策を強化すること」「貨物自動車運送事業の事業用自動車運転者の勤務時間144時間を短縮すること」など、切実な要求が込められています。この日に合わせて全国から集約した署名を国交省、経産省、厚労省に直接提出しました。

活闘連の公共事業を増やせ！トラック労働者の生活を守れ！JRは安心・安全を守れ！」とシュプレヒコールを行いました。その後、建設に関わる6部会(ダンプ部会、生コン部会、重機部会、労働部会、建設現場部会、建設・関連部会)で構成する建設産別対策委員会がゼネコン要請行動を実施。トラック部会は国交省・厚労省への要請行動、学童保育部会は国会議員要請、鉄道本部は国交省への要請行動にそれぞれ取り組みました。同時に日比谷野外音楽堂で「マイナ保険証の押し付け反対大会」に結集し銀座パレードを行いました。

10月5日「バス運転手の同一労働・同一賃金と休憩時間の自由利用を求める会(求める会)」第8回総会開催

このたたかいは、バス運転手が休憩時間中に自分の現金で握り飯を買って食べたことで処罰されたことに端を発します。その後、バス運転手として同じ仕事を輪番で行い、責任も同じにも関わらず、労働条件に差があることがおかしいではないかとの議論になり、たたかいが始まりました。会社が、正社員間で、この差があることを認めしなかったことから初審が長引きました。

一番は23年4月に「会社組織再編によって労働条件の異なる複数の労働者集団が併存することとは、通常生じる事態というべきで、ことさらに異常な事態というわけではない」と賃金差別を不問にし、さらに、西東京バス出身者と旧多摩バス出身者の地位は「労働契約の内容の差異から生じる契約上の地位にすぎない」と訴えを棄却しました。

この会は、同じ職場の正社員でありながら労働条件が異なるという現実の不満が広くある中で、この結成したたたかいでした。残念ながら司法でのたたかいは、一昨年末の高裁不当判決、昨年5月に最高裁で門前払いの不受理決定が出てしまいました。前から続いている職場への運動へと繋げ、それを支援することとを決議し、本会を解散することとしました。非正規、正規間の同一労働・同一賃金のたたかいは法律化されて運動は広がっています。本会がたたかった正社員間の賃金格差は、新自由主義がもたらしたもので、さまざまな職場でたたかわれています。運動はこれらのたたかいても呼応して続けられます。

【バス関連支部
執行委員長 佐々木仁】

鉄道東京地本10月27日第26回定期大会開催

東京地本は第26回定期大会を東十条組合事務所で開催しました。冒頭に今年1月に急逝された永瀧副委員長への黙祷が捧げられました。井上委員長は「JR東日本は輪軸組立作業のデータ改善を認めましたが、謝罪していない。みどりの窓口の閉鎖については、喜勢新社長が一旦凍結を発表したがこれは私達が経営協議会の中で大混雑・大混乱を招くと指摘していたことだ。アクセス分会では健康診断の交通費支給が通達されたが22年に私達が要求していたこと」と振

り返り、後になって成果が出るころがあるため組織が縮小してもしっかりと言うべきことを言おうと呼びかけました。組合員からは今年3月に起きた新幹線・郡山駅で停止位置を520メートル行き過ぎた事故について「JR東日本は、車輪がレールを滑る滑走を検知する度にブレーキを緩める制御装置が頻繁に作動したのが原因と発表したが、結果オーバーランするなら検知システムの意味がない。不具合を自社解決出来なかったことが問題」と指摘する発言がありました。【東日本鉄道本部429号・鉄道東京地方本部260号より】



東十条組合事務所で開催しました

東京事業団・高齢者部会 第19回定期総会

都本部の事業団部会総会は、10月26日土曜日に建交労中央本部会議室にて26名の参加で開催されました。青木副部長が司会を務め開会あいさつを行い、議長に池袋分会の鈴木さんと深川分会の島中さんを選出しました。主催者挨拶は部長が行ない、来賓挨拶は都本部遠藤書記長、事業団全国部会安藤副部長が行いました。経過報告は藤田事務局長が行いました。報告の中で今年度はどの事業団も順調に仕事確保ができて雇用を守る事ができたこと、

一人職場組合員交流会の拡充や、組織拡大検討委員会と連携しながら、都本部のホームページを有効活用するなど組織拡大に重点的に取り組むことを提案しました。また、要求実現に向けて政治闘争が欠かせないとし、学習会を通じて理解を深め、憲法改悪阻止の集会などへの積極的な参加を呼びかけました。レクリエーションとして、春のお花見や、バーベキューなど楽しいイベントを企画して仲間の団結深める一年にしようとして提起し、方針、決算・予算、役員をそれぞれ全会一致で採択しました。

※東部支部(深川民間分会、東部合同ユニオン分会、クラシエユニ

東部支部 第25回定期大会 10月20日(日)

東部支部は、10月20日(日)富岡区民会館で第25回定期大会を開催し、来賓に遠藤書記長が出席しました。方針を提案した島中書記長は、事業団・高齢者の分会の活動について「国は高齢化が進む中で年金、医療、介護等の社会保障費削減を推し進めている。定年後働かなければならない高齢者が増加する中、受け皿組織としての役割を發揮できるように活動を継続したい。ソーシャルファーム事業等を活用しながら運動をすすめたい。」と述べました。また、組織拡大が支部の最大の課題とし、

一人職場組合員交流会の拡充や、組織拡大検討委員会と連携しながら、都本部のホームページを有効活用するなど組織拡大に重点的に取り組むことを提案しました。また、要求実現に向けて政治闘争が欠かせないとし、学習会を通じて理解を深め、憲法改悪阻止の集会などへの積極的な参加を呼びかけました。レクリエーションとして、春のお花見や、バーベキューなど楽しいイベントを企画して仲間の団結深める一年にしようとして提起し、方針、決算・予算、役員をそれぞれ全会一致で採択しました。

※東部支部(深川民間分会、東部合同ユニオン分会、クラシエユニ

組合掲示板

- 11月27日(水) 19時~東京建設・関連部会、組織拡大検討委員会中野駅前宣伝行動/中野駅北口
- 12月 1日(日) 13時~都本部25春闘討論集会(東京地評ラパスホール)
- 12月 8日(日)~9日(月) 第30回全国建設研究・交流集会マロウドインターナショナルホテル成田

不足を解消してほしい、新人教育の改善、部会の在り方に対する意見等が出されました。討論のまとめの後、次期大会役員を選出し終了しました。

【部会長 赤羽目寛】



東部支部 団結して頑張ろう!